

# ハンドブック ワンポイント レッスン

## 知っておきたい規則とルール

### Question

地域協会の審判担当をしています。タイムについてお伺いします。タイムは正審が認めた場合に取れるとありますが、副審のタイムの対応についての質問です。

競技規則によれば、「タイムは正審が必要と認めた場合とることができる。」となっています。不慮の突発事故があったと副審が認めた場合、副審は当然タイムをサインとコールする訳ですが、これは副審がタイムを正審に要求しているだけでまだタイムではないのですか？副審がタイムをとったが正審がそれを認めないことはあるのでしょうか？（副審がタイムと言えばタイムと思っていました。）副審がタイムをコールすればタイムをとったことにならないのでしょうか？考え方がわかればご教示ください。

### Answer

アンパイヤーの「タイム」の対応は、正審と副審の連携が非常に大切です。

競技規則第37条（タイム）は選手自身が要求するタイムのことであり、例えば選手に突発的な身体上の支障が生じ、プレーの維持ができなくなった場合の取り方が書いてあり、「選手からのタイムの要求を含めて、正審が特に必要と認めた場合」とあります。

今回は副審のタイムの対応についてのご質問ですね。ところで副審がタイムのサインとコールはどのような時にするのでしょうか。審判規則第16条（アンパイヤー）の第4項に「副審と線審は区画線による判定区分についてはサインを持って、その他の判定区分についてはサインとともにコールを持って正審に通告する。」とあります。審判規則第8条（アンパイヤーの判定区分）第1号「区画線による判定区分について」は、正審と副審の共通部分はネットの線だけです。第2号「その他の判定区分について」は、正審と副審は全く同じ内容で14の事項が挙げられています。ということは14の事項のいずれかが発生した場合、その位置が「区画線による判定分」で示されているのに該当するならばそれに従い、その他の判定区分の区分が明らかでない場合は、その位置に近いアンパイヤーが判定するのが良いとすることができます。例えば、副審がプレーに支障が生じたと判断して、インプレーを停止させる表示をした場合「タイム」とコールしま

す。正審は、他のアンパイヤーがインプレーを停止させる表示をした場合は直ちに「タイム」とコールして、他のアンパイヤーの判定が正しければ、「レット」または「ノーカウント」にして、ゲームを再開します。副審の判断が誤りであり、プレーに支障が生じたと正審が判断した場合は、該当アンパイヤーに注意を喚起した後プレーヤーを呼んで「レット」または「ノーカウント」の扱いを伝えて、ゲームを再開することになっております。

手順としては、以上のように副審のインプレーを停止するサインを無視することはあり得ません。正審が見逃す場面があればそれをホローするのが副審で、連携を密にすることになっています。



#### 【関連規則】

##### 競技規則第37条（タイム）

「マッチ中、次の場合はタイムをとることができる。」  
第2号「その他正審が特に必要と認めた場合。」

##### 審判規則第6条（アンパイヤーの任務）

第1項「アンパイヤーは競技規則に従い、プレーヤーの円滑なプレーの進行を促し、公正かつ迅速に正確な判定を下さなければならない。」

第2項「正審は、審判台上において、マッチの進行を担当し、定められた判定区分を判定するとともに、他のアンパイヤーの判定区分については、他のアンパイヤーのサイン及びコールを確認した後に、これを尊重して明確にコールし、採点表に記録する。」

##### 審判規則第7条（アンパイヤーの心得）

第3号キ「当該マッチのアンパイヤー同士の連携を密にすること」、同ク「他のアンパイヤーの判定区分については、その権限を犯さないこと。」